

教育目標

- ◎ よく考え、行動する子ども
- お互いを大切にし、ともに生きる子ども
- 心も体もたくましい子ども

<基本方針>

学校は子どもが主役となって自己実現を目指す場所であることから、以下を基本方針とする。

基本方針1 子どもたちが桜梅桃李に自分を表現できる学校であること。

基本方針2 教師は最大の教育環境との意識をもって、教師も成長する学校であること。

基本方針3 保護者、地域から信頼される学校であること。

<目指す学校像>

1、STUDY 児童一人ひとりが夢や目標をもって、意欲的に学習に取り組む学校

○一人ひとりの良さを引き出すための児童理解。

・ユニバーサルデザインを用いた手法による授業展開で一人も取り残さない授業の研究。

教師のかかわり方・わかりやすく、楽しい授業の構築・環境の整備

・学習面、生活面を通して児童の実態を理解し、実態に応じたアプローチを大切にする。

○自分の意見を発信し、友達の意見を聞き、考える授業場面の設定。

・一人一台の端末を利用した学習により、自分の考え、表現を大切にする環境づくり

・児童の意見を認め励まし、意欲を高める声かけ。

○基礎基本の学習の定着

・朝学習での小テスト、漢字ドリル等によるスモールステップを心掛けた指導。

・キュビナの活用による基礎基本の徹底

・年間を通じて学級・学年で読書に取り組み、主体的に学ぶ意欲を促す。

※読書記録カード、読書の木の年間取り組み等

○縦横のつながりを意識した教育活動

・たて割り班活動、クラブ活動、委員会活動の異学年交流の中で、互いを思いやり、役割を果たし合う心を育てる。

・学級・学年の横のつながりを意識し、互いに認め合い、励ましあう学級・学年づくりを行う。

○心をはぐくむ教育活動

・いじめをゆるさない集団づくりに向け、いじめに関する授業を学期に1回以上行う。

・週一回以上の道徳授業を通して、日常的に児童の道徳性をはぐくみ育てる。

2、SCRUM 教師は最大の教育環境との自覚をもって、全職員が団結して取り組む学校

○3合い教師を合言葉に、一人一人が最高の教育環境へ進化する教師

・「ほめ合い」「高め合い」「整理し合い」の3合いを行う教師を目指す。

○同じ言葉・同じ対応で学校全体として統一した生活指導。

- ・教師が手本を示す挨拶運動の展開
- ・成瀬台小の一日の徹底
- ・生活指導の重点目標としての「挨拶」への学校・学年・学級での取り組み

○学年会を中心に、学年で統一した指導・対応

- ・学習の進め方、指導の仕方を学年会で検討し、学年で統一した学習指導をおこなう。
- ・町田市特別支援教育モデル校として特別支援教育の手法を用いた授業展開の研究に教材研究日をあて推進する。

○一人ひとりの得意な分野でお互いを高めあう学校・学年

- ・小教研等、自己研鑽の場を利用して研鑽し、児童に還元。
- ・互いを認め助け合う教師集団

○働きやすい環境で皆が力をだせる学校づくり

- ・ノー会議デーを週に一日は設定し、授業準備等の余裕を作る
- ・定時退勤日を月ごとに設け、心と体のリフレッシュを図る。

3、SAFETY **児童一人ひとりが安心して通え、安全に生活できる学校**

○いじめ未然防止・早期発見・早期解決

- ・こころのアンケートを実施し、いじめ対応チームで対応を検討する。
- ・SNS 成瀬台小ルールの改定と児童・保護者への周知

○安心して学校に相談できる体制づくり。

- ・事故や様々な問題はその日のうちに解明、解決を目指す。
- ・児童・保護者・教師が一緒に考え、一緒に乗り越える

○ICT 機器を利用した家庭への情報発信。

- ・HP 学校日記の更新、資料の掲載、紙ベースで発信したおたより等の掲載
- ・テトルやクロムブックを利用し、学級や学年からのお便り等の電子化

4、SOCIETY **保護者、地域社会と協力し、地域の教育力を生かした地域に開かれた学校**

○ゲストティーチャーを招いての授業

- ・地域の方と協力し、児童の育成のめあてを意識した授業づくり
- ・来ていただいた方に感謝の気持ちをもち、郷土愛をもった児童の育成

○地域と連携した子供たちの活躍の場

- ・地域団体と連携した活動を児童に紹介し（参加協力は任意）地域で活躍できる場を広げる。

○子供たちの感受性を育て、子供たちの活躍を保護者、地域に発信する行事